



John Krung

ジョン・ケニー
2009-10年度国際ロータリー会長



No. 4 7

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ①和の心を大切に
- ②委員会事業の見直しと長期計画の検討
- ③時間を大切に

例会記録 (2010. 6. 25 (金)) 通算2,808回

◆開 会

◆唱 歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆プログラム予定

7月2日 (金)	7月9日 (金)	7月16日 (金)	7月23日 (金)
クラブフォーラム 会長・幹事 (年間方針発表)	臨時総会 定款細則決算 予算承認	クラブフォーラム 2010~2011 事業計画発表 (各委員長)	クラブフォーラム 2010~2011 事業計画発表 (各委員長)

◆出席報告

本日	6月25日	会員数48名	出席者38名	出席率86.36%
前々回	6月11日	会員数48名	欠席者2名	出席率94.59%

◆MAKE-UP

寺崎 道雄会員	e - C L U B	6月22日
寺崎 道雄会員	e - C L U B	6月22日
伊藤 輝彦会員	e - C L U B	6月22日
伊藤 輝彦会員	e - C L U B	6月21日
砂川 次善会員	e - C L U B	6月13日
小林 尚人会員	e - C L U B	6月17日
田中 泰生会員	e - C L U B	6月24日

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

大村 泰司会長……一年間本当に有難うございました。

喜始すみ子会員……大変お世話になりました。

守光 隆会員……大村会長、喜始幹事1年間お疲れ様でした。
すばらしい1年だったと思います。

伊藤長次郎会員……楽しい一年間有難うございました。

新井 哲三会員……大村様1年間後苦労様でした。

親睦委員会様、神戸夕食会お世話になりました。

永野 力会員……一年間ご協力ありがとうございました。

大村会長、喜始幹事おつかれさまでした。

片嶋 純雄会員……1年間例会進行ありがとうございました。

桂田 重信会員……出席100%、お誕生祝をいただいて。

田中 泰生会員……お誕生祝をいただいて。

早退2名

◆幹事報告 (2,808回)

◎ガバナー事務所より「友」インターネット速報No.433が届いています。

◎相生R.Cより週報が届いています。

◎RI第2680地区代表 安平和彦議員より「2010年規定審議会報告」が届いています。

◎財団法人ひょうご子供と家庭福祉財団より2009年度の活動報告が届いています。

◎国連UNHCR協会より冊子が届いています。

※例会変更のお知らせ

◎姫路南R.C 7月12日(月)→15日(木) 12:30～

西播第一グループ合同例会 姫路キャッスルホテル

7月26日(月)→25日(日) 11:30～

納涼家族例会 三木ホースランドパーク ミオの森

◎明石南R.C 2010年7月のプログラム案内が届いています。

- 2日 会長・幹事就任あいさつ
- 9日 4大奉仕委員長 年度方針発表
- 16日 4大奉仕委員長 年度方針発表
- 23日 会員卓話テーマ モントリオール国際大会に参加して
- 30日 前年度 決算報告 今年度 事業計画

◆本日のプログラム

会長・幹事挨拶

●ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第2680地区

東播第2グループ 永野 力 ガバナー補佐



●会長挨拶 大村泰司会長

今日はいよいよ会長としての最後の例会を無事迎える事が出来ました。本当にありがとうございました。と申しましても、最後まで会長として足が地についていません。言い残した事、やり残したことがいっぱいあるのですが、何も出来ぬまま1年が終わろうとしています。

今思いますとただ思いだけで何の能力もないこんな私が喜始幹事のほめ上手に踊らされ、信原副会長の皮肉に励まされ、片嶋S A Aのあの笑顔にはいつも癒されながらやっこここまでたどり着く事ができました。また今年は永野ガバナー補佐が居られましたので地区事業に参加しても何時も永野会員がサポートに回って頂き心強い限りでした。

さて本年度の報告ですが会長方針として

- ①例会の第一目標に【和の心を大切に・和をもって貴と成す】。をテーマに色々各委員長にご協力を頂きました。特に西田委員長には5つ星の和懐石や花見の茶会など事業面でも大変なご支援を頂きました。またクラブ奉仕の尾上プログラム委員長や高木雑誌会報委員長にも色々ご配慮を頂き、色々不備もございましたが、何とか今日の最終例会を迎えることができました。
- ②次に【事業の見直しと長期計画】。まず中尾会員に高砂R.C特有の友愛奉仕基金の明文化と永續の道を模索して頂きました。

また新世代の後藤会員には市の補助が無くなった新世代会議の方向を示唆して頂き、坂井社会奉仕委員長には22年1月14日に10周年を迎えた高砂プロバスクラブとの交流にご配慮頂き、また新井会員には新設の研修リーダーの地区研修に大変ご足労頂きました。さらに籠谷会員と庄司会員のご協力により今年も会員の減少を最小限に食い止



めることが出来ました。

- ③第三に【時間を大切にでは】例会の開会と閉会の時間を守ろうとしましたが、これが実に変で年とともに集中力は無くなり、すぐ時間が過ぎてしまい、思うように行きませんでした。

また幹事をしていた時、ある古参の会員から【「会長の時間は例会の柱」会長に必ず3分以上のスピーチして頂きたい】とアドバイスを受けたので、今年も出来るだけ時間を取って話そうとしましたが、原稿を見ながらのスピーチは最後まで苦手でおわりました。

- ④今年には特に【I・M】の担当で永野ガバナー補佐中心に坂牛実行委員長を始めIM実行委員会の皆様には大変お世話になりました。特に坂牛会員の指導力と守光IM幹事の多芸と行動力には脱帽いたしました。

- ⑤最後に昨年の地区補助金事業【映画鑑賞会「ふるさとをください」】(本年度8月9日に開催)に続き、地区社会奉仕委員会から「補助金申請は出来るだけ続けてください」と要請がありました。

そこで目をつけたのが昨年度の友愛奉仕基金対象事業【子供の町高砂】で。今年もいくらか助成をと考えましたが、友愛奉仕基金は基本的に1事業1回と運用規定にあり断念しました。しかし大変素晴らしい事業でしたので、西川財団委員長にお願いし地区補助金に目をつけたのであります。ところがロータリー自身の自主運営事業でなければ補助金が出ないと知り、ここから思わぬ苦勞が始りました。

事業の内容は「こどものまち高砂」という約400人のこども達が集まるイベントの会場に特設ステージを組み、こどもモデルが、ウェディングドレスや、自ら選んだ好きな服を着てステージを歩く、ファッションショーの企画運営ですが、すでに子供達の市役所表敬訪問や模擬市会の開催など幾つか事業が実行されており(最終16回)、高砂ロータリークラブの自主事業として如何に取り組めるか、NPOの竹内君との事前打ち合わせも何度か行い、キッズスペースと当クラブとの合同役員会も宇治園店舗と会議所にて2度開催いたしました。そして昨年【子供の町高砂2009】が企画され、例会として会員で取り組むことになりました。

いよいよ本番の21年11月1日。しかし、あいにくの雨!仕方が無く、会場を室内に変え最初のステージは寂しく始まりましたが、最終ステージではモデル参加の希望者も最初の7名から50名を超え、会場も入場制限が出るほどいっぱい集まってくださいました。雨にもインフルエンザの猛威にも関わらず400名の子供たちが集うイベントが今年も大盛況に終わりました。

そんなこんなで、この事業に関わらず今年も職業奉仕の妹尾委員長・国際奉仕の井上委員長・米山の山野委員長など多くの委員長のサポートと一々お名前を申し上げられませんが多くの会員のご協力で、やっとこの高砂ロータリークラブ会長という重責を何とか全うする事が出来ました。本当にありがとうございました。

最後に一つやっぱり和の話をさせて下さい。私は商売柄茶会席が大好きです。茶会席といますのは最初にご飯とみそ汁と刺身がでます。しかも正式にはまずご飯を食べ、少しのこして汁を頂き、最後にお酒が注がれて初めて刺身を頂くと約四時間の行程に1から

10まで約束が決まっています。

その窮屈な約束の中で自由奔放な空間を見出すと言った矛盾した世界が大好きですが、実は次年度会長の信原さんと何度か同席もしましたし、我が家の茶会席にもお招きしましたが、いかにも窮屈そうにし食事をされ、ご自分でも一番苦手だと公言されています。

安くても三万円、高いと十万近くする茶会席、もったいないと思いますが価値観の相違は埋めようがございません。そんな信原会長が次年度の会長です。いろんな意味で私とは全く違った趣向と価値観をお持ちの次年度ですが、信原次年度会長は、とにもかくにも人並み外れた大きさと人柄の信原会長だけに、お仕事でも地域社会でも会議所活動でも多くの重責を兼務されながらの会長就任となります。かじ取りを任された脇谷幹事と共に、ぜひ来期は今年度以上の皆様のご協力をお願いして最後のお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

● 幹事挨拶 喜始すみ子幹事

光陰矢の如し、歳月は人を待たず、まさにこの一年はあっという間に過ぎました。幹事という任務も名ばかりで、これといって何もしないまま、本年度も終わりました。前回、前々回のクラブフォーラムで今年度の事業報告があり、各委員会それぞれ素晴らしい実績を報告されました。委員の皆様にご心から敬意を表し厚くお礼を申し上げます。



さて、今年度の大村会長方針は、「和の心を大切に」を第一に挙げておられました。幹事は会長の意に添い、具体的なカタチにしなければなりません。クラブフォーラムの内容は広い意味ですべてその根底に「和の心」がありました。今後それをどう発展、充実させていくかこれからの課題だと思います。

親睦委員長の西田会員様および委員の皆様大変ご苦勞様でございました。21年11月29日の家族例会、秋のもみじの永観堂、菊の井の懐石料理。22年4月10日の十輪寺の花見、茶会。等々まさに「和の心」を十分に堪能できました。

そして最後の6月19日の移動家族例会Hong Kong料理の会は、中華料理でとても楽しい会でした。「和」という言葉には“気が合う、仲良くする”という意味があります。今年度小林尚人会員、寺崎道雄会員が入会下さいました。現在会員数は48名、更に楽しい高砂ロータリーを期待しています。信原会長年次に向けて、脇谷幹事さんを始めそれぞれの分野で着々のご計画を進めておられます。高砂ロータリーのすばらしさを実感した年度でした。有難うございました。

会長 大村 泰司 幹事 喜始すみ子
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 高木 史郎
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/